

科目ナンバー	LAW-2-005-k			科目名	国際法I		
教員名	鈴木 悠			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	国内社会のルールとして国内法があるように、国際社会にも国際法というルールがあります。国際法は、国境を越えた事柄に対応するために国家間で作られるものであり、国家はその国際法にしたがって行動し、国際法の下で負っている義務を国内社会において実施することが求められます。国際関係が複雑化するにつれて、国際法と国内社会の関係も複雑なものとなっており、国際法は国際社会と国内社会の両方において重要なものであるといえるでしょう。この授業では、国際法の基本構造について学び、平和的紛争解決、国家の領域、海、国際組織に関する国際法を通して理解を深めていきます。						
到達目標	国際法の基本的な知識を用いて、国際裁判所を含む主要な国際機関の概要と平和的紛争解決における役割について、説明することができる。また、国家領域、海洋に関する国際問題について、歴史的背景や国内および地域情勢などを考慮して、何が問題であるか、国際法の観点から検討し、適切な表現で論理的に説明することができる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	パソコン、プロジェクターを使用します。映像資料を用いることもあります。授業中または授業後に定期的にミニレポートを作成してもらいます。また、授業の3～4回ごとにクイズを実施します。ミニレポートおよびクイズに関しては、採点后に全体または個別にフィードバックを行います。予習または復習としてテキストの該当箇所を事前および事後に読みましょう。授業中、挙手や発言を求めたり、受講生同士でグループワークを行い、その成果を受講生全体と共有してもらうことがあります。日頃から新聞やテレビ、ネットなどで国内外のニュースに触れ、様々な国際問題について考える機会を持つておくとういでしょう。特に、国際法との関連を意識して考えてみることをお勧めします。						
アクティブラーニング			サービスラーニング			課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	国際問題について学ぶ科目を履修していることが望ましいです。						
アセスメントポリシー及び評価方法	期末レポート70% 授業中または授業後に定期的に実施するミニレポート30%、授業の3～4回ごとにクイズを実施します。すべてのクイズを受験し、その平均点が7割を超えた場合に限り、ミニレポートの点数を1.2倍とします。						
教材	加藤信行ほか『ビジュアルテキスト国際法』有斐閣 ISBN978-4641046788						
参考図書	中谷和弘ほか『国際法[第3版]』(有斐閣、2016年)。判例集として、小寺彰ほか『国際法判例百選[第2版]』(有斐閣、2011年)。杉原高嶺ほか『国際法基本判例50[第2版]』(三省堂、2014年)。薬師寺公夫ほか『判例国際法[第3版]』(東信堂、2019年)。出版社や年度は問わないが、条約集を持っていることが望ましい。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	授業で扱う主な内容、授業の進め方、成績評価、情報収集の方法、学習方法などについて説明します。また、授業で扱う「国際法」の概要を説明します。						
授業外学修内容	シラバスを読んでおいてください。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	国際法の歴史						
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましょう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましょう。					時間数	1
3週目							
授業学修内容	国際法総論①						
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましょう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましょう。					時間数	1

4週目			
授業学修内容	国際法総論②		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
5週目			
授業学修内容	紛争の平和的解決①		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	紛争の平和的解決②		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	国家に関する国際法①		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	国家に関する国際法②		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	条約、外交・領事関係法		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	領域・国際公域に関する国際法		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	海洋法①		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	海洋法②		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	国際組織法①		
授業外学修内容	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましよう。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	国際組織法②		
	予習または復習としてテキストの該当箇所を読みましよう。ミニレポートが		

授業外学修内容	授業外の課題として課された場合は、次回の授業までに取り組んでおきましょう。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	期末レポートの内容に関して、各受講生にプレゼンテーションをしてもらいます。受講生の希望に応じて、期末レポートについて気になることや困っていることなどについて話し合います。		
授業外学修内容	期末レポートについて情報を収集し、構想を練り、プレゼンテーションの準備をしておいてください。	時間数	5
上記の授業外学修時間の合計		15	
その他に必要な自習時間		75	

Number	LAW-2-005-k	Subject	International Law I		
Name	鈴木 悠(Suzuki Yu)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>Today, international community consists of more than 200 States. As States have a sovereign right, they are not subject to any other state in any aspect. There is neither central government nor common rules or standards. But our daily life depends on international trade, many of us visit foreign countries for business or sightseeing tour. Thus, we need international rules or standards which enable us to trade materials and to travel foreign countries easily. International promises are essential of international law. It is necessary for us to understand international rules. The purposes of this class are studying i) the fundamental structures of international law, ii) international law relating to States iii) fundamental issues relating to State territories and responding rules.</p>				